

特長

駐車場の緑化に代表される緑化舗装には、『熱環境の改善』『緑の創出』『景観の向上』『雨水の一時貯留』など様々な効果が期待されています。

スクエアパネルとは、植物にとって過酷な状況を強いられる緑化舗装において、永続的に植物が生育できる環境をサポートする為に開発した、緑化舗装時の植物保護パネルです。



■植物の踏圧軽減

十字形状の突起部が、確実に植物への踏圧を軽減します。

■高い緑覆率

全体補強型設置方式」の使用形態において、約73%の緑覆率を有します。

■高い耐久性能

コンクリート製なので、プラスチックマットの保護材と比較して、高い耐久性能を有します。

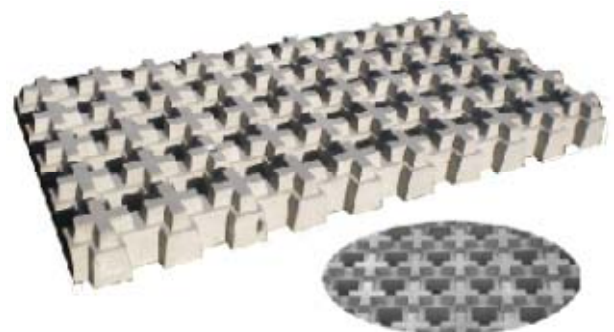
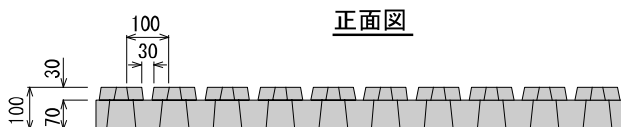
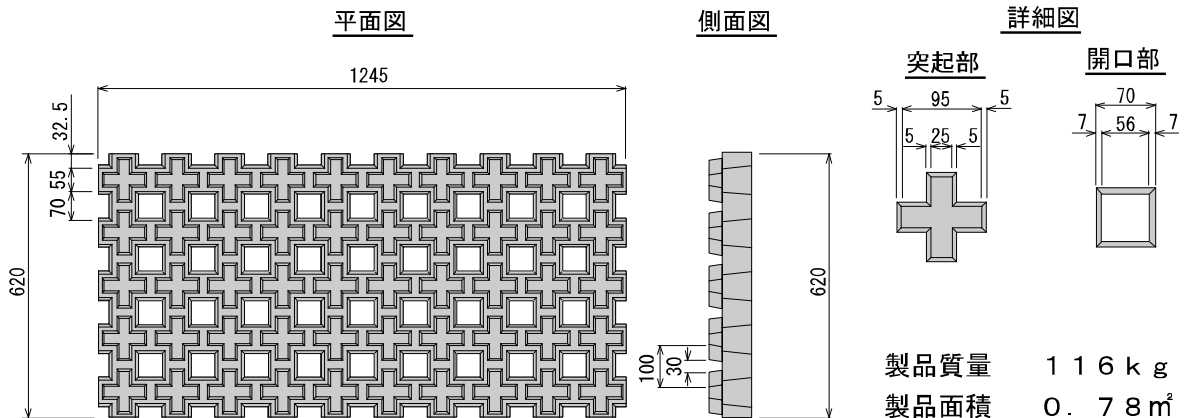
■施工時間の短縮

大型のパネル (0.78㎡/枚) のため、ブロック等と比較して大幅に施工時間を短縮します。

■不陸発生の抑制

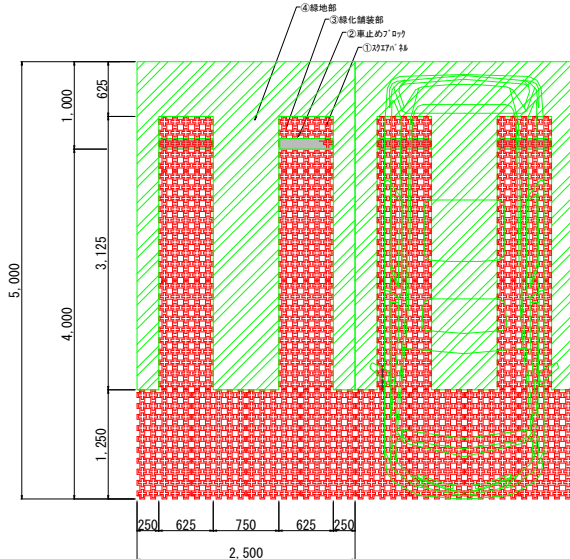
自動車荷重を大きな面積で受け分散するので、不陸の発生を抑え、施工後の歩行性を確保します。

スクエアパネルの構造

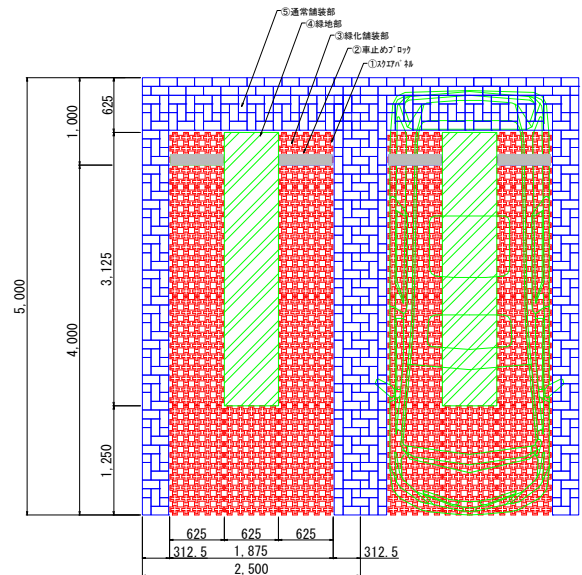


工法の種類と特徴

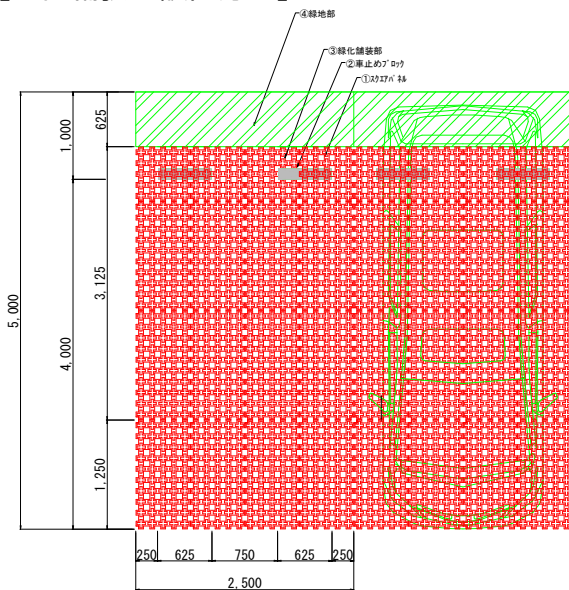
【緑化率向上型設置方式】



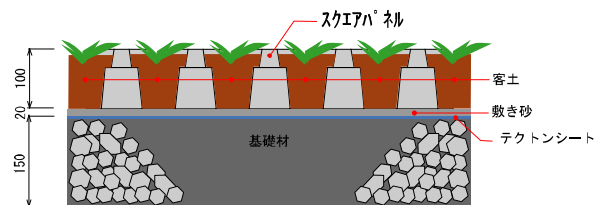
【歩行性向上型設置方式】



【全面補強型設置方式】



【標準断面図】



植生植物

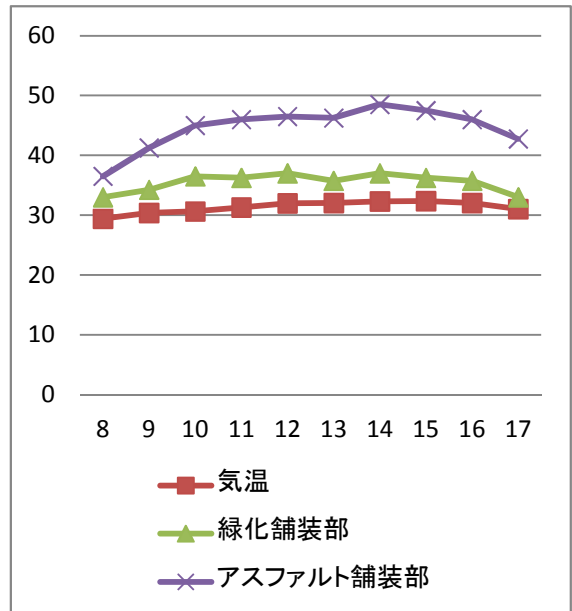
植生植物は、設置場所の日照時間、利用頻度、管理条件などを考慮し選択します。

項目	推奨植物			
	コウライ芝	タマリユウ	クラピア	
写真				
それぞれの特徴	日本在来種の芝で耐踏圧性に優れ暑さに強く、寒さに弱い特徴があります。	成長が遅く、管理が容易な常緑種の植物です。暑さ寒さに強く耐踏圧性に優れています。	耐踏圧性に優れ、高い匍匐性を持つイワダレ草の改良品種です。	
比較項目	耐暑性	○	○	○
	耐寒性	×	○	△
	対乾性	○	○	○
	耐踏圧性	△	×	○
	すりきれ抵抗性	△	×	○
	耐陰性	○	○	△
	管理難易度	大	少	中
	植付適期	年中可能(最適期3~5月)	年中可能	3~9月
	植付方法	張芝、播種、苗	苗	苗

表面温度観察記録

猛暑日の続く8月の晴れた日を対象に、4日間にわたり「緑化舗装部」と「アスファルト舗装部」の表面温度を、『赤外線式表面温度計』を使用して計測しました。

計測時間	計測平均値		
	気温	緑化舗装部	アスファルト舗装部
8:00	29.4°C	33°C	37°C
9:00	30.4°C	34°C	41°C
10:00	30.6°C	37°C	45°C
11:00	31.3°C	36°C	46°C
12:00	32.0°C	37°C	47°C
13:00	32.1°C	36°C	46°C
14:00	32.3°C	37°C	49°C
15:00	32.4°C	36°C	48°C
16:00	32.0°C	36°C	46°C
17:00	31.0°C	33°C	43°C



- 計測日
2010年8月17日
~8月20日
- 緑化部植物
コウライ芝

